



米田のFP通信

ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

新しい年を迎え穏やかに過ごしのことと思います。2022年が皆様にとってより良い年になるようお祈り申し上げます。

令和4年のお正月いかがお過ごしでしたか？

私は、年金や医療制度などが大きく変わっていくなか、私たちFPの役割は益々重要になっていく、と決意も新たにしたところです。

今年の干支「壬寅（みずのえ・とら）」は、「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるという意味のようです。

コロナが終息し明るい年になると良いですね。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

今年こそ家計簿を、とお考えの人もいないでしょうか？ 家計夢ノートを参考にして貯蓄を増やしていきませんか？

介護保険料滞納 差押えの高齢者初の2万人

厚生労働省が11月に発表した「令和2年度介護保険事務調査の集計結果について」によると介護保険料を滞納し財産を差押えられた65歳以上の高齢者は21,578人と調査依頼初めて2万人を超えました。

平成27年に1万人を超えてから6年連続の増加です。

増加の原因としては、徴収する自治体が徴収業務に力をいれたこと、介護保険料が制度開始時と比べ倍以上になり高齢者世帯への負担が増したことがあげられています。

下表は介護保険制度開始時点と現在の保険料と介護費用を比べたものです。

保険料		介護費	
第1期 (2000-02年度)	2,911円	2001年度	4兆3782億円
↓		↓	
第8期 (2021-23年度)	6,014円	2020年度	10兆7783億円

介護は財源だけでなく、それを支える人材の確保・育成という課題があります。

今後は負担の在り方も変わっていくことが予想されますので、出来る準備はしっかりとしておくことが大切です。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

今まで何回か家計簿をつけようとしたが長続きしなかった。今年こそは、とお考えの人もいるのではないのでしょうか？

長続きしなかった人にその理由を聞いてみると、

- 目的・目標があいまいでつけることが目的となってしまった
- 細かく分類するのが面倒になってしまう
- 1円単位で合わないと感じが済まない

が主な原因のようです。つまり細かいことを気にせずに目的・目標を明確にすることが続けるために大切だということになります。

「家計夢ノート」を参考にしてみる

「家計夢ノート」は、金融広報中央委員会（事務局日銀内）に掲載されています。

（家計夢ノート 知るぽると、で検索）

「家計夢ノートの特徴」は、まず初めに長期のライフプラン、を思い浮かべること、から始めることです。

将来起こる出来事とそれに必要な金額を明確にします。ファミリー層の記入例、中高年層の記入例、さらに住宅や教育など一般的にかかる費用例なども載っているので、それを参考にしながら計画を立てていけば良いでしょう。

その上で、年間計画、月間計画を立てていきま。年計画・月計画を立てると今年自由に使えるお金の目安がわかります。

ここで今年の貯蓄額を決めます。

貯蓄先取り方式

ポイントは「貯蓄先取り方式」です。

収入－支出＝貯蓄、ではなく、
収入－貯蓄＝支出、にすることで将来の準備をしながら安心してお金を使うことができます。

お金をしっかりと貯めている人は「貯蓄先取り」です。「支出先取り」をしている人は今年から「貯蓄先取り」に変えてみてはいかがでしょうか？

記録する

計画を作ったうえで日々の家計管理をしていきます。目的は将来の計画・夢の実現、なので細かい費目に悩む必要はありません。

記録して月に一度チェックをしましょう。貯蓄予定額に対して順調に進んでれば家計の細かい費目にこだわる必要はないかもしれませんね。

家計管理もビジネス同様PLAN→DO→CHECK、が大切なのです。すでに家計簿を購入している人、アプリを使っている人は、計画の部分を参考にしてもいいでしょうか？

また、先取りした貯蓄をどのような商品にしておけば良いのか、などのご相談があればお気軽にご連絡ください。

